



# 主な内容(予定)

## ★森友学園問題

豊中市で、学校法人森友学園に対し、10億円にもなろうという国有地がわずか200万円で払い下げられました。

森友学園は右翼的で国家主義的な教育をしてきており、名誉校長は安倍首相夫人昭恵。安倍首相自身も森友学園に好意的でした。問題発覚後政府は追い詰められ、大阪府と大阪維新も便宜を図って認可した「瑞穂の国記念小学院」を不認可とし、学園側も申請を取り下げました。小学校用地は国が買い戻すことになりましたが、それまで森友学園の広告塔の役目を果たしてきた知識人たちは手のひらを返すように無関係を装っています。

しかし、政府は依然として教育の国家主義化を進めようとしています。

## ★加計学園問題

経済成長政策の柱の一つである国家戦略特区として今治市が選ばれ、加計学園がこの特区の業者に認定されました。学園が運営する岡山理科大学の獣医学部が新設されることになったのですが、この認定に安倍政権が深く関わっていたことが明らかになりました。

菅官房長官が「怪文書」だと言って否定しようとした、「総理のご意向」、「官邸の最高レベルが言っている」と書かれた文書は実際に存在しました。「官邸は絶対やると言っている」、「総理はおしりを切っている」という萩生田発言も明らかになりました。元下村文科大臣への加計学園からの献金疑惑もでています。

安倍内閣は、加計学園への利益供与でも追い詰められています。

## ★権力の私物化・公私混同

森友学園問題では国家主義教育を進めようとする籠池に、加計学園問題では安倍の「腹心の友」に、安倍政権が便宜を図りましたが、甚だしい権力私物化・公私混同です。

この権力の私物化・公私混同をさらに示したのは稲田防衛大臣です。都議選の応援演説での「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてお願いしたい」という発言です。公務員がその地位を利用して選挙運動をしてはならないという公務員法にも違反しており、自民党の都議候補の当選を「自衛隊としてもお願いしたい」と言うのです。

民主主義はどこへ行ったのでしょうか。

## ★無力な野党

安倍政権が個別企業に特別の便宜を図り、その利益のために権力を乱用し行政を歪めたのですから、かつて安倍自身が断言したように、自ら総理をやめて、議員を辞職すべきです。

安倍政権を退陣に追い込む闘いが求められています。

民主党は、しかし、真相を究明するのは良いのですが、断固として安倍に辞任を迫り、安倍の逃げ場をなくし追い詰めようとしているのでしょうか。

共産党は、安倍政権の加計学園に対する便宜供与を示す文書をいくつか発掘しました。しかし、天皇の生前退位問題では安倍政権と共闘し・妥協し、安倍政権を助けたとも言えます。かつては民主主義に反する天皇制に反対していたのに、いつその「臣民」に落ちぶれたのでしょうか。

## ★労働者の課題

都議選で自民党は歴史的な大敗を喫しました。

だからといって手をゆるめることなく、森友学園問題や加計学園問題のさらなる真相を究明し、権力の私物化・公私混同を追求し、安倍政権を退陣に追い込まなければなりません。

さらに、こうした闘いを発展させ、労働者が毎日の生活に呻吟することのない、そういう社会を目指す闘いに立ち上がることが労働者の課題ではないでしょうか。